

しん ち

県営新地ため池地区土地改良事業計画書

（ 農用地の保全 ）

地域（熊本市城南町）
熊本県県央広域本部

目

第 1 章 目 的	1
第 2 章 地域及び地積	1
第 1 節 地域の所在	1
第 2 節 地 積	1
第 3 章 現 況	2
第 1 節 土地状況	2
1. 地形及び侵食の程度	2
2. 土地所有の状況	2
第 2 節 水利状況	3
1. 用水状況	3
2. 排水状況	6
第 3 節 道路状況	該当なし
第 4 節 地域農業の状況	10
第 5 節 地域環境の状況	11
第 4 章 一般計画	13
第 1 節 事業計画の要旨	13
第 2 節 営農計画	14
第 3 節 用水計画	該当なし
第 4 節 排水計画	該当なし
第 5 節 道路計画	該当なし
第 6 節 農用地整備計画	該当なし
第 7 節 老朽ため池改修計画	20
1. 洪水吐改修計画	20
2. 堤体補強計画	20
3. 取水施設改修計画	20
第 5 章 主要工事計画	21
第 1 節 用水施設	21
1. 貯 水 池	21
2. 頭 首 工	該当なし
3. 揚 水 機	該当なし
4. 用 水 路	該当なし
5. 計画用水系統	該当なし

次

第 2 節 排水施設	該当なし
第 3 節 道路	該当なし
第 4 節 農用地整備施設	該当なし
第 5 節 老朽ため池改修施設	30
1. 貯 水 池	30
2. 堤体補強施設	30
第 6 章 附帯工事計画	31
第 7 章 工事の着手及び完了の予定時期	31
第 8 章 環境との調和への配慮	32
第 9 章 換地計画の概要	該当なし
第 10 章 事業費の総額及び内訳	38
第 11 章 効 用	39
第 12 章 関連する事業	39
第 13 章 施設の管理	40
第 14 章 現況・計画図面	41
1. 現況平面図	42
2. 計画平面図	43
3. 土地利用計画図	44
4. 主要構造図	45

第 1 章 目 的

本ため池は、熊本市南区城南町の鰐瀬地内に位置し、水稻を中心に花卉等の栽培が行われている。ため池の築造は明治 32 年とされており、斜樋・底樋等の老朽化や、堤体の浸食及び漏水が著しいなど課題を多く抱えている。

このため、ため池を整備することにより、災害を未然に防止し、ため池下流の流域の農地・農業用施設等の保全、農業生産性の向上及び農家経営の安定化を図るものである。

第 2 章 地域及び地積

第 1 節 地域の所在

熊本県熊本市南区城南町

第 2 節 地 積

令和 6 年 3 月現在 (第 1 表)

地 目 市町村名	現 況 (ha)					計 画 (ha)				
	田	畑	道・水路	その他	計	田	畑	道・水路	その他	計
熊本市	5.6				5.6	5.6				5.6
計	5.6				5.6	5.6				5.6

第3章 現 況

第1節 土地状況

1. 地形及び浸食の程度

(第2表)

地 目	田						畑 ・ そ の 他								受益地標高 (m)		備 考
傾斜区分	1/1,000 未 満	1/1,000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 以 上	計	3° 未満	3° ～ 8°	8° ～15°			15° ～ 20°	20° 以上	計	最高	最高	
									8° ～12°	12° ～15°	8° ～15°						
面積 (ha)		5.6				5.6											
比率 (%)		100				100											

2. 土地所有の状況

(令和6年3月現在) (第3表)

区 分 \ 所有別	個人有	個人有	市町村有	その他 (県有等)		計
面 積 (ha)	5.6					5.6
受 益 者 数 (人)	23.0					23.0
筆 数 (筆)	45.0					45.0
権 利 関 係	23.0					23.0
備 考 (所 有 者 数)						

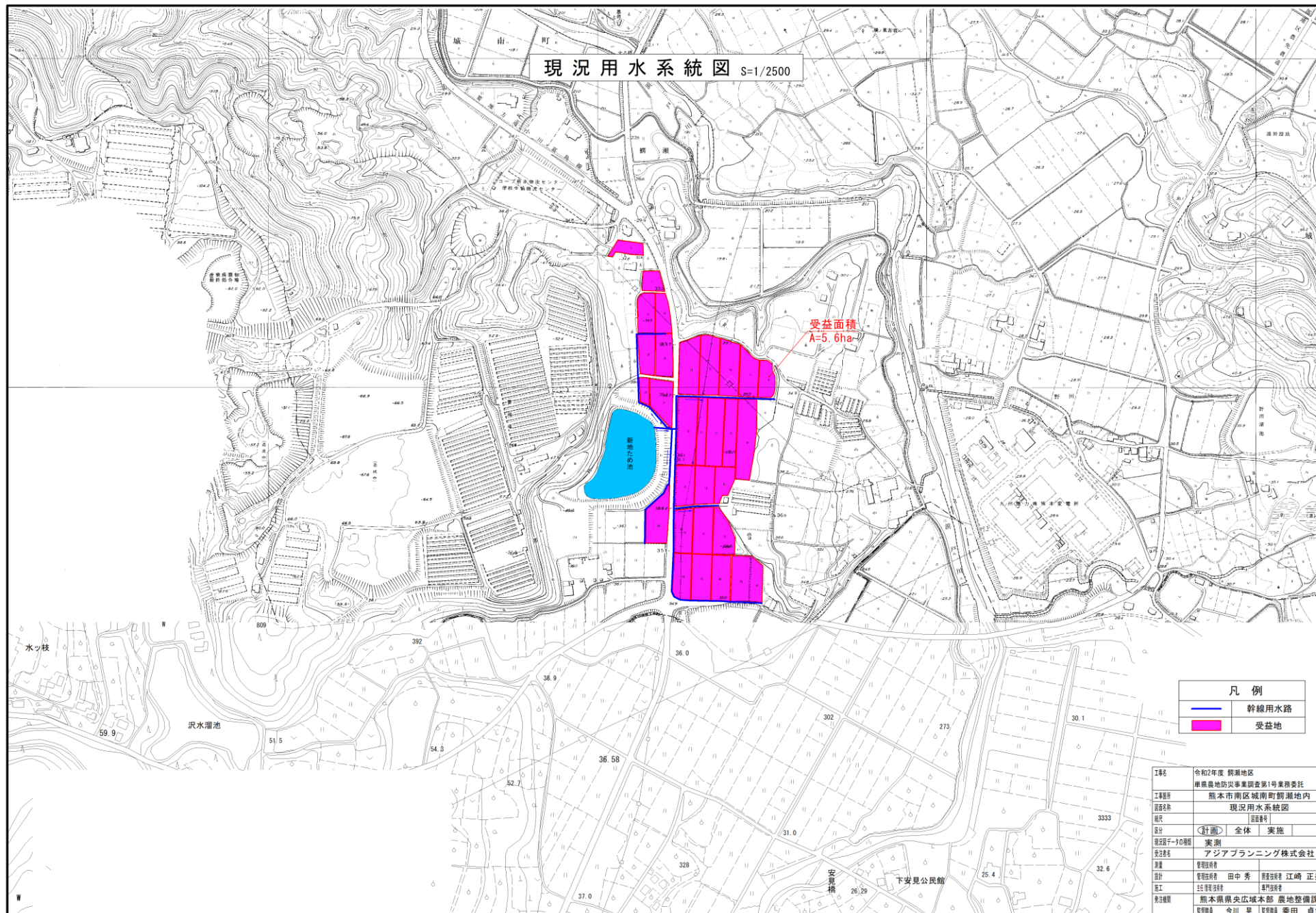
第2節 水利状況

1. 用水状況

地区の現況用水は、水源をため池に依存し熊本平野南部土地改良区の管理により、受益地 A=5.6ha のかんがいを行っている。

(1) 用水系統

次ページの現況用水系統図を参照



(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧

(第4表-1)

施 設 \ 項 目	施 設 名 又は (箇 所 数)	水 利 権 (m ³ /s)	慣行水利権 (m ³ /s)	延べ取水量 (m ³ /s)
貯 水 池	新地ため池	0.047	0.047	0.047
頭 首 工				
揚 水 機				
自然取入口				
そ の 他				
計	新地ため池	0.047	0.047	0.047

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第4表-2)

施 設 \ 項 目	施 設 名 又は (箇 所 数)	構 造	規 模 (m)	新 設 年 又 は 更 新 年	改 修 を 必 要 と す る 理 由
貯 水 池	新地ため池 (1箇所)	均一型	堤高 : H=5.3m 貯水量 : V=38,000m ³	無し	斜樋・底樋等の老朽化
頭 首 工					
揚 水 機					
用 水 路					
そ の 他					

2. 排水状況

地区の現況排水状況は、ため池洪水吐(土水路)により放流している。

(1) 排水系統

(7) ページの現況排水系統図を参照

(2) 排水施設 (該当なし)

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-1)

施 設 \ 項 目		施 設 名 又 は (箇 所 数)	排水慣行 (m^3/s)	現況排水能力 (m^3/s)
自然	排 水 路			
	排 水 樋 門			
機械	排 水 機			
	そ の 他			
計				

(イ) 改修を要する施設の一覧表

(第5表-2)

施 設 \ 項 目		施 設 名 又 は (箇 所 数)	構 造	規 模 (m)	新設年又は 更 新 年	改 修 を 必 要 と す る 理 由
自然	排 水 路					
	排 水 樋 門					
機械	排 水 機					
	そ の 他					

第3節 道路状況（該当なし）

1. 道路概況

道路系統

（ ）ページの現況平面図を参照

2. 改修を要する道路の一覧表

（第6表）

路 線 名	管理区分	延 長 (m)	幅 員 (m)		路面構造	改修を必要と する理由	備 考
			全 幅	有効幅			

上記以外の地区内道路については既設道路を利用する。

第4節 地域農業の状況

本地域では、水稻（4.6ha）を中心に、かすみそう（0.3ha）、小麦（0.1ha）の作付けが行われている。

第5節 地域環境の状況

城南町は、熊本県のほぼ中央部に位置し、県の中核都熊本市の南13kmの地点に位置する。町の南西部には、城南・富含・宇土・松橋の4市町にまたがる雁回山(標高314m)があり、一帯は国有の自然林で、西から東へ山麓が広がり山林、樹園地、畑を形成する。更に南部は、標高100m～50m内外の低い山林で、その山麓は起伏に富み、山林・樹園地・畑がある。

(1) 植物

城南町の山間の大部分は、スギ・ヒノキ植林で覆われており、一部ヤブツバキクラス域代償植生であるコナラ群落やシイ・カシ萌芽林、及びヤブツバキクラス域自然植生であるイスノキ-ウラジログシ群集がパッチ状に分布している。

また、スギ・ヒノキ植林に一部田が混在しており、水田・畑・植林が広がり、住宅地も分布している。

(2) 動物

城南町近郊において、野鳥はヤマセミ、カワセミ、ブッポウソウ、コノハズク等が見られ、緑川河口付近ではシギ、チドリ類、カモ類等が見られる。昆虫類は、ムカシトンボ、ムカシヤンマ、ハルゼミ、オオムラサキ等の指標昆虫類及びホタル類等数多くの種類の昆虫が生息している。淡水魚類はカジカ、カワアナゴ、ギバチ等の生息が見られる。

（３）景観

緑川・浜戸川流域に広がる平野部、雁回山・吉野山の丘陵部およびそれらのふもとに、起伏する台地とでわが町の骨格的な地形は構成されている。これらの自然は景観的要素、更には地球的規模の環境といった視点からも重要な資源と考えられる。また町に点在する歴史的な資源は、これらの自然地形と密接に関係している。

本町は熊本都市圏近郊に位置し、急速な都市化が進みながらも、まだ十分な緑と田園地帯が維持されており、今後これらの自然および歴史的な自然とが調和した町づくりをめざす。

第4章 一 般 計 画

第1節 事業計画の要旨

新地ため池は、熊本市南区城南町鰐瀬地内に位置し、明治32年に築造され、121年経過しているため池である。

ため池堤体の現状としては、浸食による堤体の断面不足が進行し、原形から著しく変形している。また、下流側は、ため池からの漏水によるよると思われる湿田が存在する。斜樋・底樋取水設備は、欠損や埋没により使用不可能なため、塩ビ管を堤体に挿入しただけの簡易的な取水管を設置し、バルブ操作にて取水している状況である。

以上のことから、堤体の改修及び主要施設（取水工、洪水吐、安全施設等）の機能回復を図り、堤体決壊等の災害を未然に防止するとともに、農業用水の安定供給を維持することで、地域農業の振興と住民の安全・安心を確保することが必要である。加えて、本ため池は、平成30年7月豪雨を踏まえ見直しを行った新たな基準である防災重点ため池にも指定されており、早急な防災減災対策が必要である。

第2節 営農計画

本地区は、水稻及び麦の土地利用型作物に、かすみそうの高収益作物を組み合わせた個別営農が行われており、当該事業により水源であるため池の再建設整備を行うことで、現在の営農を維持・継続していく。

第3節 用水計画 (該当なし)

1. 計画かんがい期間及び方式

かんがい日数 日 (~)

かんがい方式 輪換田 方式

輪換畑 方式

2. 計画用水量

(第7表-1)

系統名 項目	水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費水量 (m ³ /s)	損失率 (%)	粗用水量	
	普通期	代かき期	面積 (ha)	一平均 当たり水 計深画 (mm/日)	平均 間断日 数 (日)	面積 (ha)	一平均 当たり水 計深画 (mm/日)	平均 間断日 数 (日)	面積 (ha)	計単 画位 平均水 量 (mm/日)	面積 (ha)			平均 (m ³ /s)	最大 (m ³ /s)
	計単 画位 平均水 量 (mm/日)	計単 画位 代用 か水量 (mm)													
計															

3. 水源計画 (該当なし)

(第7表-2)

消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源 工種	b
				水源名	取水地点 利用可能量	ほ場利用 可能量	純不足 水量	全不足 水量	水源名	水量		
a (千m ³)	b (千m ³)	c=a-b (千m ³)	d=c/(1-α) (千m ³)		e (千m ³)	f (千m ³)	g= c-f (千m ³)	h= d-e (千m ³)		(千m ³)		損失率 : α

第 4 節 排水計画 (該当なし)

1. 計画排水期間及び方式

排水日数 日 (~)

排水方式

2. 計画排水量

(第 8 表)

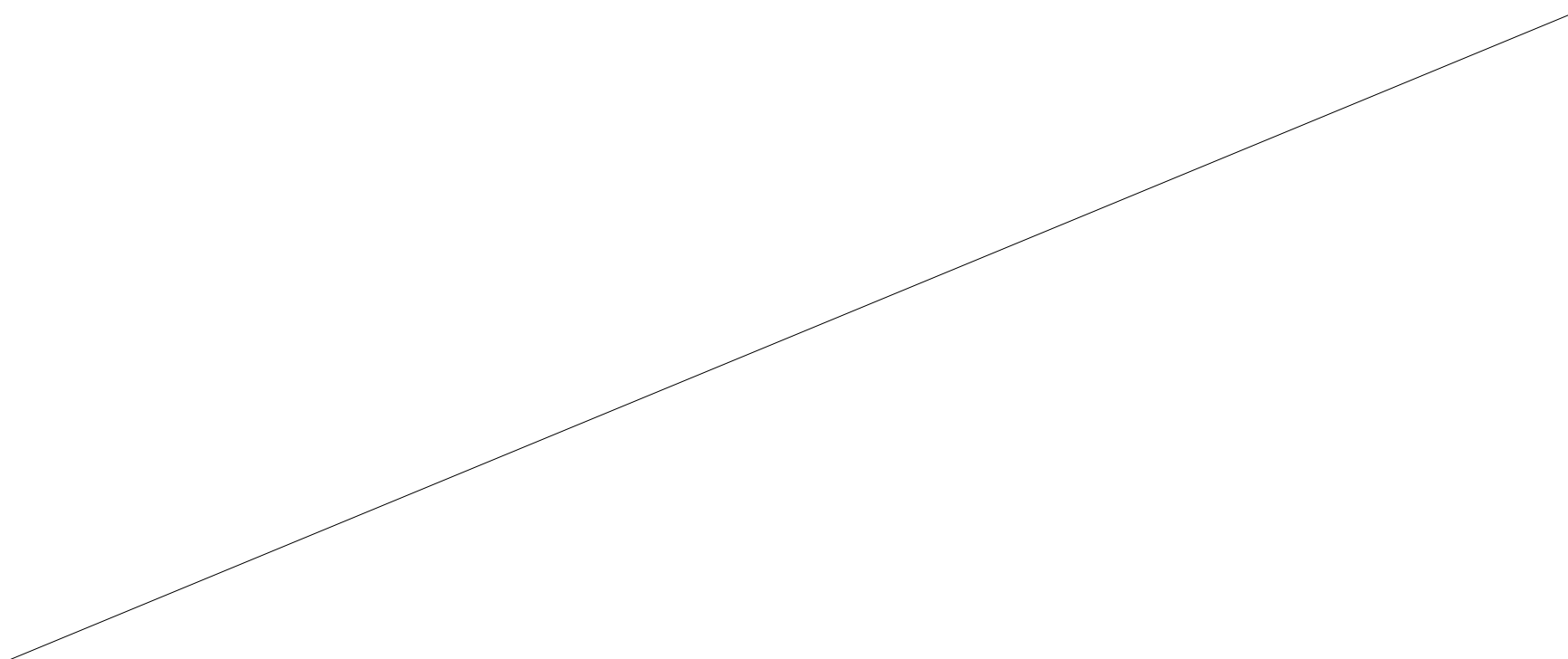
項目 排水系統名	流域面積 (km ²)			全排水量 (m ³ /s)		単位排水量 (m ³ /s/km ²)		排水先の施設能力		
	地区内	地区外	合計	自然排水	機械排水	自然排水	機械排水	水路	樋門	ポンプ
計										

第5節 道路計画 (該当なし)

1. 幅員

2. 舗装

3. 接続



第6節 農用地整備計画 (該当なし)

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(2) 表土扱い

2. 暗渠排水

3. 客 土

計画平均減水深	mm／日
計画作土厚	cm
10a 当たりの客土量	m ³

第7節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

新地ため池の改修に当たっては、新たに洪水吐を設置する。

計画洪水量： $Q=3.137 \text{ m}^3/\text{s}$

2. 堤体補強計画

堤体断面の改修と漏水対策として遮水シートを埋設し法面にブロックマットを施工し堤体の安定を図る。

3. 取水施設改修計画

①取水施設

- ・型式：バルブ操作による取水→斜樋管（塩ビ管 $\phi 300$ ）
- ・取水量： $0.047 \text{ m}^3/\text{s}$ （最大取水量）

②緊急放流施設

- ・型式：現状では緊急放流施設は設置されていない→斜樋管（塩ビ管 $\phi 300$ ）
- ・設計放流量： $0.168 \text{ m}^3/\text{s}$

③底樋放流工

- ・型式：現状では底樋管は設置されていない→底樋管（高耐圧ポリエチレン管 $\phi 800$ ）
- ・設計流量： $Q=0.262 \text{ m}^3/\text{s}$ （緊急放流時の最大流量）

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池

(第9表－1)

名称	所在地	構 造			有効貯水量 (千㎡)	かんがい 面積 (ha)	維持管理の方法	耐用年数
		型式	堰長	堰高				
			(m)	(m)				
新地ため池	熊本市南区城南町	表面遮水壁型	296.0	5.6	33.9	5.6	熊本市	121年

2. 頭首工 (該当なし)

(第9表－2)

名称	所在地	取 水 河川名	構 造			取 水 量		かんがい 面積 (ha)	維持管理 の方法	耐用年数
			型式	堰長	堰高	代掻期	普通期			

3. 揚水機 (該当なし)

(第9表－3)

名称	所在地	水源及び その状況	揚 水 機			原 動 機			揚水量	かんがい 面 積	建物等 附帯施設	維持管理 の方法	耐用年数
			種類	口径 (mm)	台数	種類	動力 (kw)	台数					

4. 用水路 （該当なし）

（第9表－4）

水路名	延長 (m)	通水量 (m^3/s)	構 造	規 格	附帯構造物	維持管理の方法	耐用年数
計							

5. 計画用水系統 （該当なし）

（ ）ページの計画平面図を参照

第2節 排水施設 (該当なし)

1. 排水樋門

(第10表-1)

項 目 名 称	所在地	型 式	構 造	内 水 位 (m)	外 水 位 (m)	排 水 量 (m ³ /s)	備 考
計							

2. 排水機

(第10表-2)

名称	所在地	原動機	実揚程 (m)	排水量 (m ³ /S)	吐き出し 河川名	流域面積 (ha)	建物等の 附帯施設	維持管理 の方法	耐用年数
		種類口径台数 種類台数能力							

3. 排水路 （該当なし）

（第10表－3）

水路名	延長 (m)	排水量 (m³/S)	構造	規格	附帯構造物	維持管理 の方法	耐用年数
合計							

4. 計画排水系統 （該当なし）

（ ）ページの計画平面図を参照

第3節 道 路 （該当なし）

1. 道 路

（第11表）

名称	延 長 (m)	全幅(巾員) (m)	路面構造	附 帯 構 造 物			維持管理 の方法	耐用年数
				橋梁	暗渠	その他		
計								

2. 路線配置図

（ ）ページの計画平面図を参照

第 4 節 農用地整備施設 (該当なし)

1. 区画整理

(第 1 2 表－ 1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工 標準区画 (m)	表土扱い 面積 (ha)	備 考

2. 暗渠排水 (該当なし)

(1) 暗渠排水

(第12表-2-1)

項目 区分	面積 (ha)	集水渠				排水渠						集水渠出口以下の 排水施設	備考
		勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)		

(2) 心土破碎

(第12表-2-2)

項目 区分	面積 (ha)	改良深 (m)	破碎間隔 (m)	工 法	備 考

3. 客 土 （該当なし）

（第 1 2 表－ 3 ）

項 目 区 分	面 積 (ha)	客 土 量 (m ³)	土取場土量 (m ³)	運搬距離 (km)	運搬方法	備 考

4. 除 礫 （該当なし）

（第 1 2 表－ 4 ）

項 目 区 分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除 礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考

第5節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池

(第12-5表)

名 称	新地ため池				位 置	熊本市南区域南町		
堤 体	型 式	流 域 (km ²)	堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 (m ³)	貯 水 量(千m ³)		備 考
						総貯水量	有効貯水量	
	均一型	9.0	5.6	296.0	11,000	40,200	33,900	
洪 水 吐	型 式	洪 水 量 (m ³ /s)	取水施設	型 式	取 水 量 (m ³ /s)	放流施設	型 式	放 流 量 (m ³ /s)
	水路流入式	3.137		斜樋	0.047		底樋管 高耐圧ポリエチレン管 φ800	0.262

2. 堤体補強施設

(1) のり面保護施設

堤体上流側法面に法面保護工としてブロックマットを計画

(2) 漏水防止工

斜樋及び底樋の改修

第6章 附帯工事計画

- ・ 防護柵（ネットフェンス）の設置

ネットフェンス：H1.00m（忍返付）×L=288m

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着 手	令和 3 年 10 月
-----	-------------

完 了	令和 8 年 3 月
-----	------------

第8章 環境との調和への配慮

- ・生態系の配慮について

在来生物やその他保護上重要な野生動植物が発見された場合は、施工区域外に移動させるなどの配慮を行い、必要に応じて環境情報会議を開催する。また、外来生物が確認された際は、拡散防止のため、河川等に流出しないようにする。

- ・工事施工時における配慮について

施工箇所に隣接して一部養鶏場があるため、低振動、低騒音、排出ガス対策型の施工機械を使用するとともに、影響がないように細心の注意を払う必要がある。また、養鶏場への進入路に隣接していることから、資材運搬等工事車両の通行においては徐行運転に努める。

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方 (該当なし)

第2節 換地区の設定 (該当なし)

1. 換地区の名称、所在及び面積

(第13表-1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)

2. 換地区を設定する理由

第 3 節 換地計画樹立の基本方針 (該当なし)

1. 従前の土地の地積の基準

(第 1 3 表－2)

換 地 区 名	地 積 の 基 準

2. 用途別予定地積 (該当なし)

(単位 : ha) (第 13 表 - 3)

換地区名		用途 (取得 予定者)	非農用地区域外に換地を定める土地											非農用地区域に換地を定める土地										機能交換に係る土地				一般 国公有地	総 合 計		
			田	畑	山林・ 原野	そ の 他	通常事業施行 地域に含める 土地(令第1条 の9()書き)			計	本事業によっ て生ずる土地 改良施設用地			創設 農用地	合 計	特定用途用地			異種 目換地	創設非農用地					合 計	国	県			市 町 村 他	合 計
							土地 改良	そ の 他	小 計		改 良 区	そ の 他	計			宅 地	そ の 他	計		農 業 施 設 用 地	必 要 施 設 用 地	公 共 用 地	宅 地 等	計							
	従前の土地																	※													
	換地																														
	従前の土地																														
	換地																														
	従前の土地																														
	換地																														
合 計	従前の土地																														
	換地																														

※「異種目換地」の「従前の土地」には、異種目換地の原資となる土地の面積（内諾・同意の面積）を記入する。

3. 農用地集団化の方針 (該当なし)

(第13表-4)

区 分 換 地 区 名	地帯別、グループ別 団地の設定	個 人 別 換 地 の 方 法		
		位 置 の 選 択 方 法	1戸当たり目標団地数	区 画 畦 畔 の 取 扱 い

4. 非農用地の換地方法 (該当なし)

(第13表-5)

区 分 換 地 区 名	種 類	非農用地区域の位置の概略	面 積 (m^2)	換地の手法	換地取得予定者	そ の 他

第4節 土地の評価及び清算の方法 (該当なし)

1. 評価の方法

2. 清算の方法

第5節 換地計画樹立の年度計画 (該当なし)

(第13表-6)

区 分 換 地 区 名	一 時 利 用 地 の 指 定 予 定 年 度	換 地 計 画 の 決 定 予 定 年 度	換 地 処 分 予 定 年 度	備 考

第6節 換地処分の時期に関する特則 (該当なし)

第 10 章 事業費の総額及び内訳

(単位：千円) (第 14 表－1)

主 要 工 事 費	433,252 (259,000)	備 考
測量及び設計費	44,178 (28,000)	上段：変更後 下段：(変更前)
用地費及び補償費	570 (1,000)	
小 計	478,000 (288,000)	
地 方 事 務 費	23,900 (14,400)	
計	501,900 (302,400)	

事業費の負担区分及び地元負担の基準

(第 14 表－2)

	事業費	事務費
国庫負担予定額	239,000 千円 (50%) (144,000)	
県費負担予定額	162,520 千円 (34%) (83,520)	23,900 千円 (100%) (14,400)
市町村負担予定額	76,480 千円 (16%) (60,480)	
地元負担予定額	－ 千円 (0%) (－)	
計	478,000 千円 (288,000)	23,900 千円 (14,400)

第 1 1 章 効 用

(第 1 5 表)

区 分 \ 項 目	年総効果（便益）額 （千円）	現況年総農業所得額 （千円）	年総増加農業所得額 （千円）	備 考
作物生産効果	2,533 (2,606)	—		上段： 変更後 下段：（変更前）
営農経費節減効果	△395 (△350)	—		
維持管理節減効果	△ 80 (△ 77)	—		
災害防止効果	12,164 (10,375)	—		農業関係資産：7,288千円 (6,865千円) 一般資産：4,876千円 (3,510千円) 公共資産：— 千円 (— 千円)
その他	7,152 (5,441)	—		水源かん養効果：6,454千円 (5,085千円) 国産農産物安定供給効果：698千円 (356千円)
計	21,374 (17,995)	—		R 5 (R 2) 年度単価

変更後 総費用（現在価値）： 496,673 千円
 総便益（現在価値）： 518,095 千円
 総費用総便益比＝518,095 千円／496,673 千円＝1.04

変更前 総費用（現在価値）： 281,501 千円
 総便益（現在価値）： 369,772 千円
 総費用総便益比＝369,772 千円／281,501 千円＝1.31

第 1 2 章 関連する事業

該当なし

第 1 3 章 施設の管理

(第 1 6 表)

施設の種類	工事完了後の管理者	管理開始の手段	管理開始の時期
新地ため池	熊本市	財産譲与	工事完了後

(1) 管理開始の特例

財産譲与、換地処分前であっても、管理を委託された者は、ただちに管理を開始するものとする。

(2) 財産譲与・換地処分の条件

なし

第 1 4 章 現況・計画図面

1. 現況平面図
2. 計画平面図
3. 土 地 利 用 計 画 図
4. 主要構造図

〔その他の例〕

〔計画平面図と土地利用計画図を兼ねる場合〕

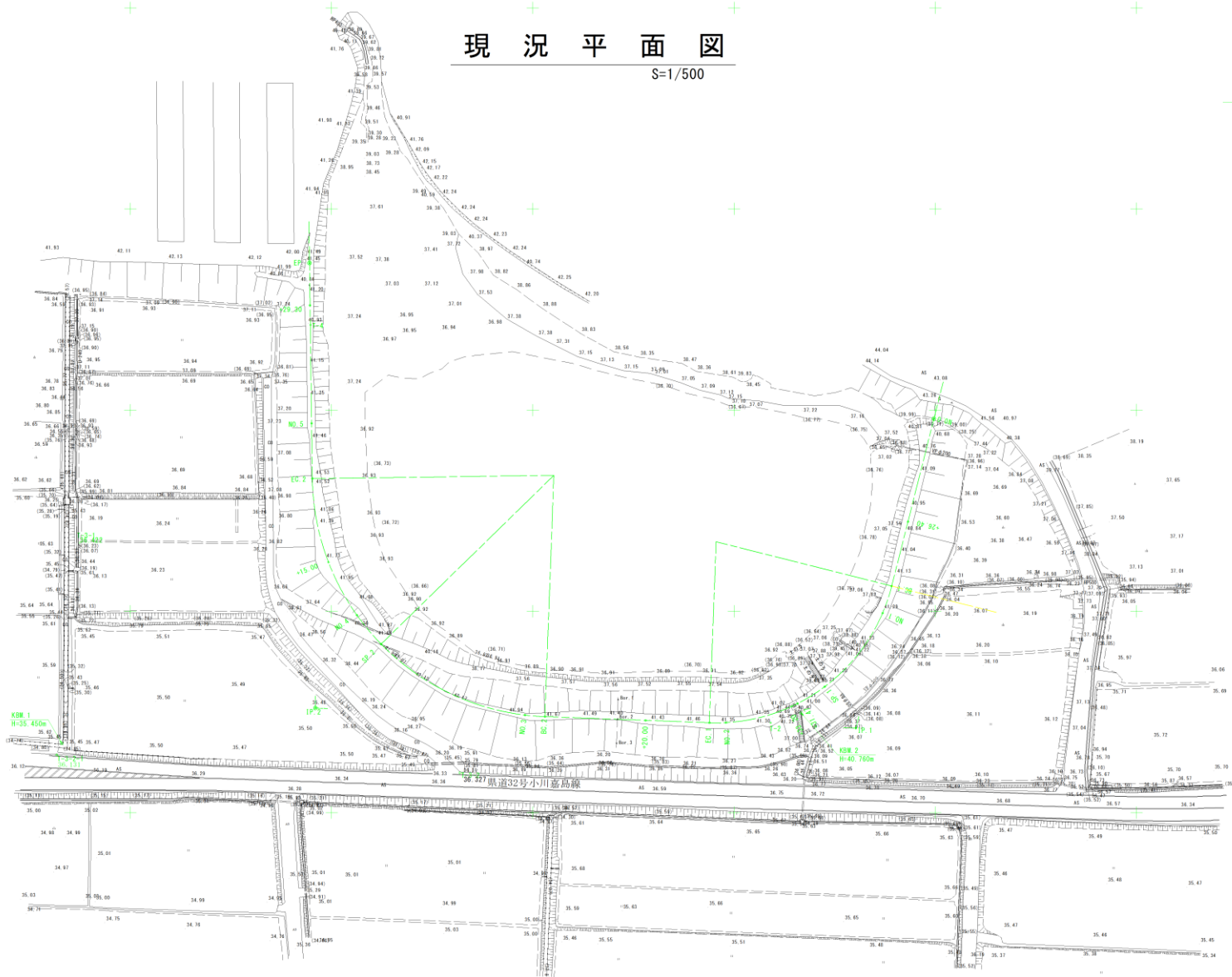
1. 現況平面図
2. 計 画 平 面 図 及 び 土 地 利 用 計 画 図
3. 主要構造図

〔計画変更の場合〕

1. 現況平面図
2. 変 更 計 画 平 面 図 及 び 変 更 土 地 利 用 計 画 図
3. 主要構造図

現況平面図

S=1/500

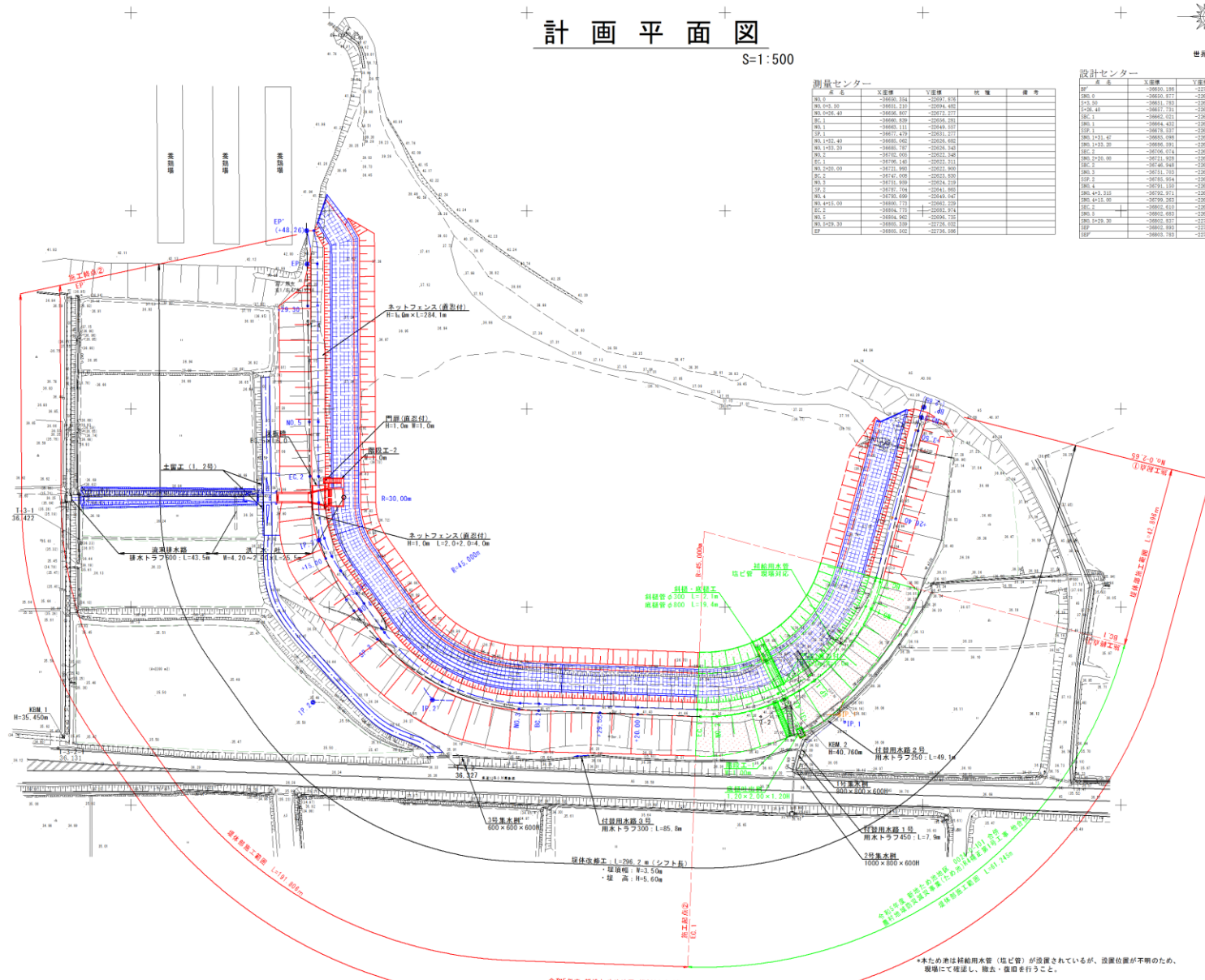


工事名	令和2年度 野瀬地区
工事箇所	千葉県防犯事業調査第1号業務委託
図面名称	船本市南区城南町野瀬地内
縮尺	現況平面図
区分	全体 実施
調査者	アジアプランニング株式会社
測量	測量技術者 田中 秀
設計	測量技術者 江崎 正美
監工	主任技術者 専門技術者
監査機関	熊本県県央広域本部 農地整備課
監査員	今川 晃 監査員 栗田 成博

S=1 : 500

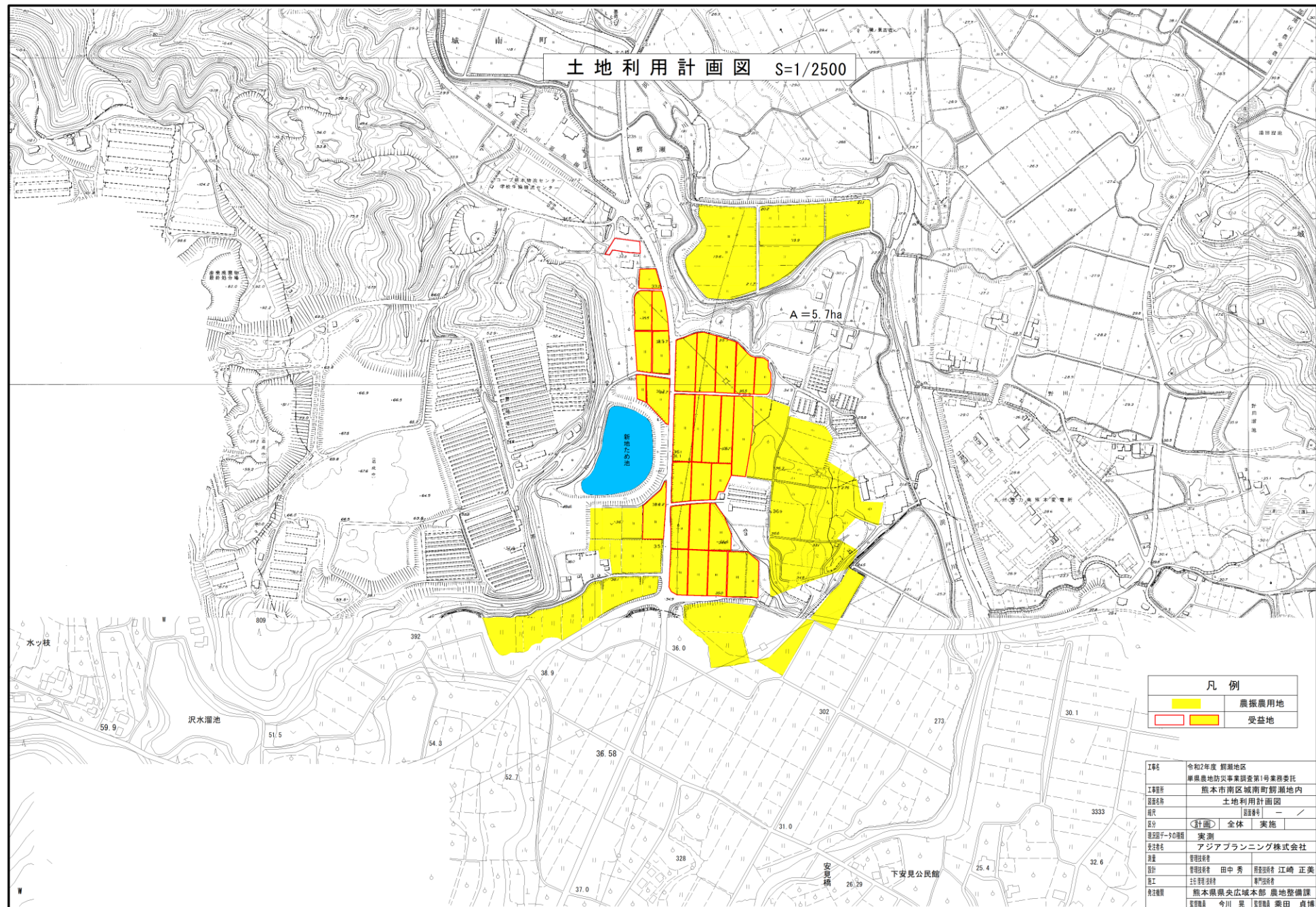
[illegible]

站名	高程	水深	流速	流向	备注
站1	100.0	0.00	0.00	0.00	
站2	100.0	0.00	0.00	0.00	
站3	100.0	0.00	0.00	0.00	
站4	100.0	0.00	0.00	0.00	
站5	100.0	0.00	0.00	0.00	
站6	100.0	0.00	0.00	0.00	
站7	100.0	0.00	0.00	0.00	
站8	100.0	0.00	0.00	0.00	
站9	100.0	0.00	0.00	0.00	
站10	100.0	0.00	0.00	0.00	
站11	100.0	0.00	0.00	0.00	
站12	100.0	0.00	0.00	0.00	
站13	100.0	0.00	0.00	0.00	
站14	100.0	0.00	0.00	0.00	
站15	100.0	0.00	0.00	0.00	
站16	100.0	0.00	0.00	0.00	
站17	100.0	0.00	0.00	0.00	
站18	100.0	0.00	0.00	0.00	
站19	100.0	0.00	0.00	0.00	
站20	100.0	0.00	0.00	0.00	
站21	100.0	0.00	0.00	0.00	
站22	100.0	0.00	0.00	0.00	
站23	100.0	0.00	0.00	0.00	
站24	100.0	0.00	0.00	0.00	
站25	100.0	0.00	0.00	0.00	
站26	100.0	0.00	0.00	0.00	
站27	100.0	0.00	0.00	0.00	
站28	100.0	0.00	0.00	0.00	
站29	100.0	0.00	0.00	0.00	
站30	100.0	0.00	0.00	0.00	
站31	100.0	0.00	0.00	0.00	
站32	100.0	0.00	0.00	0.00	
站33	100.0	0.00	0.00	0.00	
站34	100.0	0.00	0.00	0.00	
站35	100.0	0.00	0.00	0.00	
站36	100.0	0.00	0.00	0.00	
站37	100.0	0.00	0.00	0.00	
站38	100.0	0.00	0.00	0.00	
站39	100.0	0.00	0.00	0.00	
站40	100.0	0.00	0.00	0.00	
站41	100.0	0.00	0.00	0.00	
站42	100.0	0.00	0.00	0.00	
站43	100.0	0.00	0.00	0.00	
站44	100.0	0.00	0.00	0.00	
站45	100.0	0.00	0.00	0.00	
站46	100.0	0.00	0.00	0.00	
站47	100.0	0.00	0.00	0.00	
站48	100.0	0.00	0.00	0.00	
站49	100.0	0.00	0.00	0.00	
站50	100.0	0.00	0.00	0.00	



*本ため池は補給用水管（塩ビ管）が設置されているが、設置位置が不明のため、現場にて確認し、撤去・復旧を行うこと。

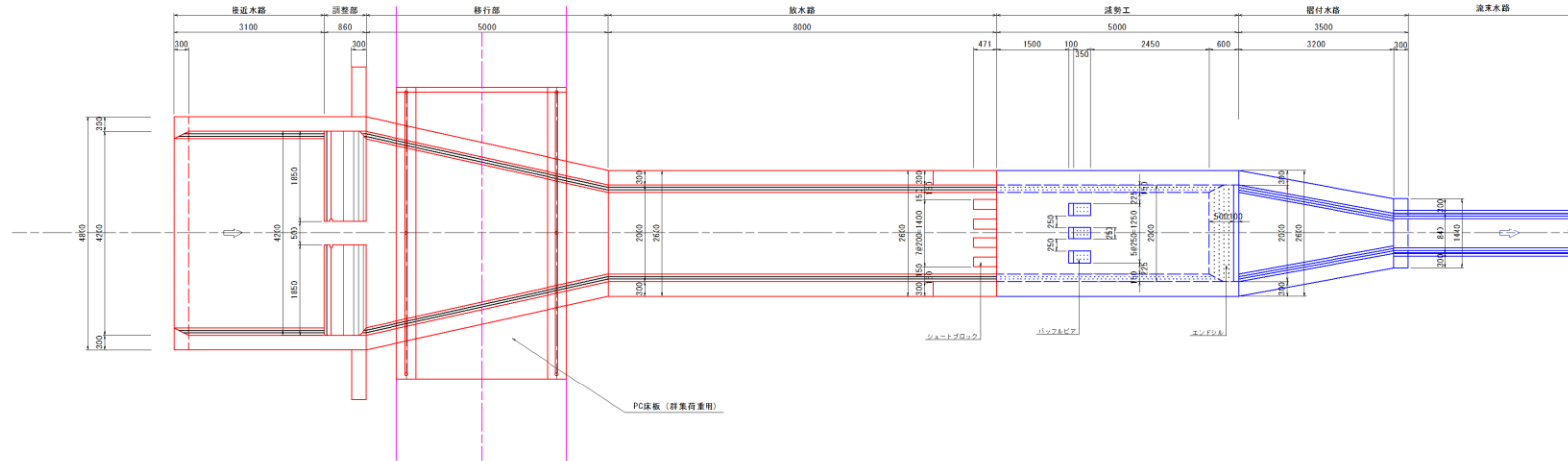
工事名	令和5年度 新緑地ふれあい池 第0124-0-102号 合 豊村緑地防災減災事業(ため池)和補正 第2号工事 池合修		
工事箇所	熊本県宇土郡南郷町野田		
図面名称	計画平面図		
縮尺	1:500	図面番号	2-1/1
区分	計 画	全 体	実 施 形
現況図データの補注			
発注者名	アジアプランニング株式会社		
測量			
設計			
施工			
発注機関			



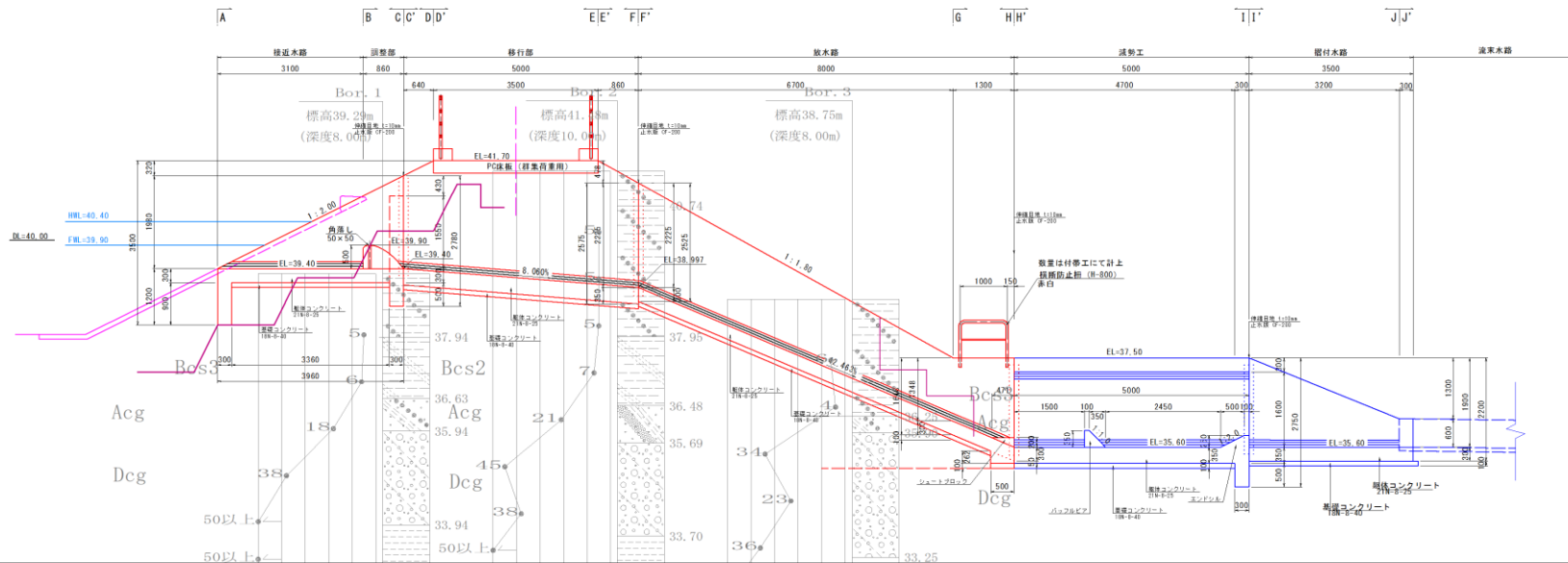
洪水吐工構造図(1/3)

S=1:50

平面図



側面図

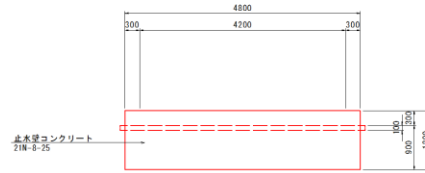


工事名	令和5年度 新橋ため池地区 第0124-0-102号 合併 農村地域防災減災事業 (ため池 185地区) 第2号工事 総合整備
工事箇所	原本市南区城南町新池内
図面名称	洪水吐工構造図(1/3)
縮尺	図 示 図面番号 11-1/3
区分	計 画 全 体 実 施
関係図データの種別	
受注者名	アジアプランニング株式会社
調査	
設計	
施工	
発注機関	

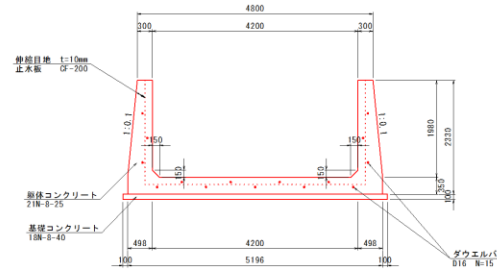
洪水吐工構造図(2/3)

S=1:50

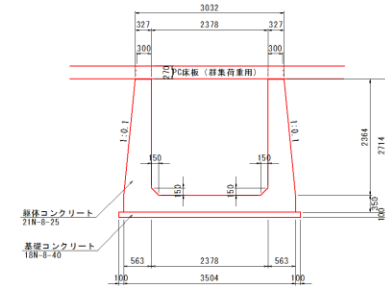
A-A断面図



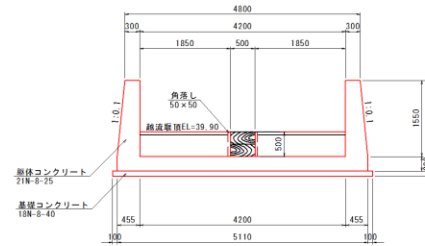
C'-C'断面図



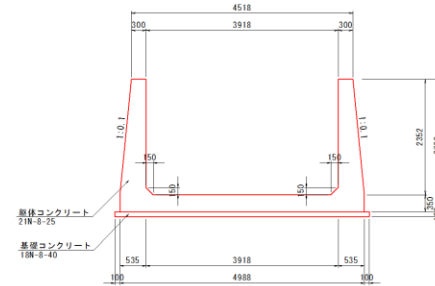
E-E断面図



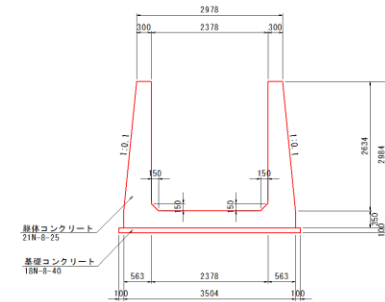
B-B断面図



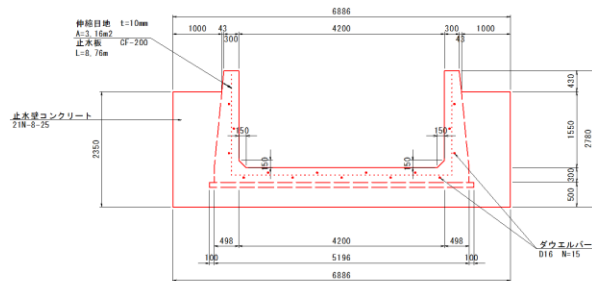
D-D断面図



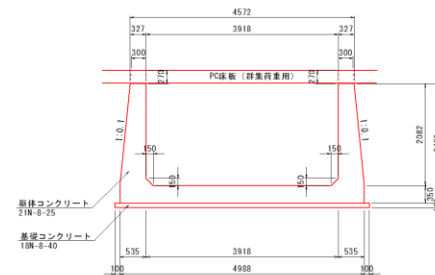
E'-E'断面図



C-C断面図

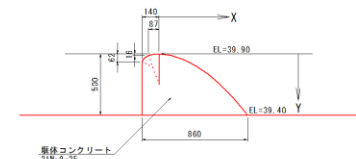


D'-D'断面図



越流堰詳細図

S=1:20



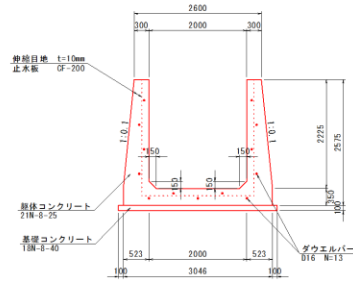
X座標	Y座標
0.100	0.013
0.200	0.046
0.300	0.098
0.400	0.167
0.500	0.252
0.600	0.353
0.700	0.470
0.720	0.500

工事名	令和5年度 鶴巻ため池地区 第0124-0-102号 合併 農村地域防災対策事業(ための池)第1期工事 総合選
工事箇所	原本市南区城南町新淵地区内
図面名称	洪水吐工構造図(2/3)
縮尺	図 示 図面番号 11-2/3
区分	計 画 全 体 実 施
図面データの種別	
受注者名	アジアプランニング株式会社
測量	
設計	
施工	
発注機関	

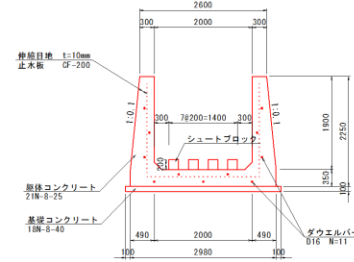
洪水吐工構造図 (3/3)

S=1 : 50

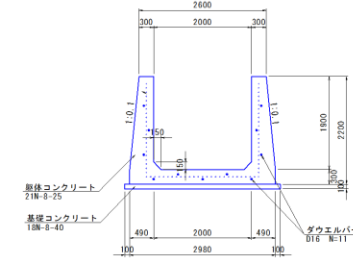
F - F 断面図



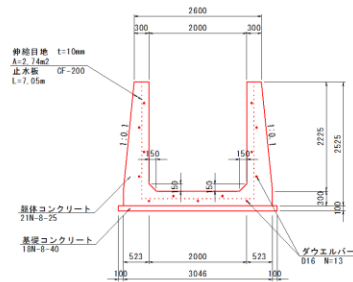
H - H 断面図



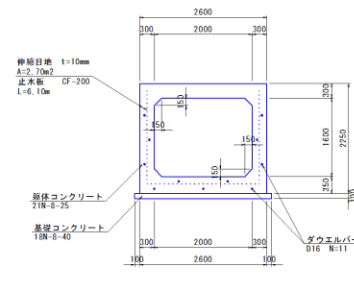
I' - I' 断面図



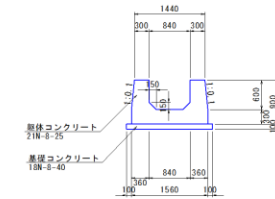
F' - F' 断面図



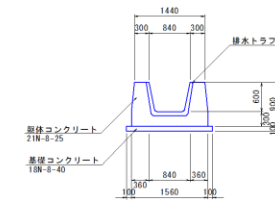
H' - H' 断面図



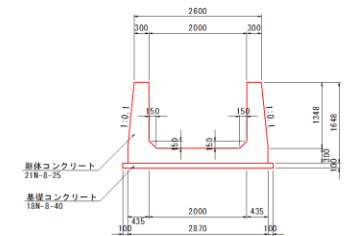
J - J 断面図



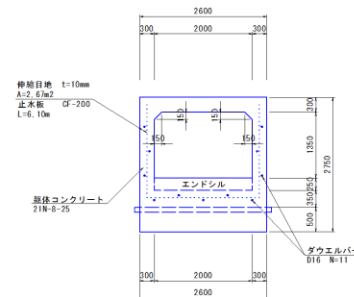
J' - J' 断面図



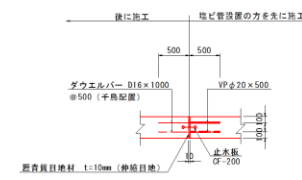
G - G 断面図



I - I 断面図



ダウエルバー標準図



※ダウエルバーは500mm間隔以下で設置する。

工事名	令和5年度 市町村合併促進事業 第1124-0-102号 道路		
工事箇所	熊本市南区城南町新築地内		
図面名称	洪水吐工構造図 (3/3)		
図尺	図 示	図面番号	11-3/3
区分	計 画	全 体	実 施
図説図データの種別			
受注者名	アジアプランニング株式会社		
測量			
設計			
施工			
発注機関			